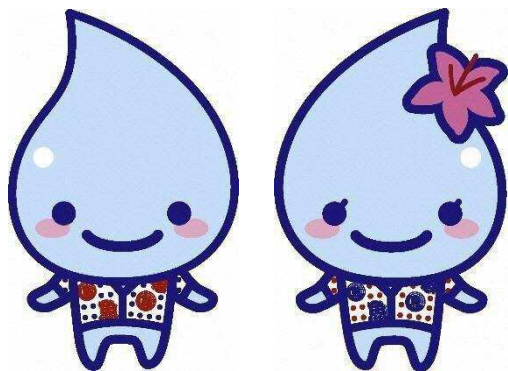


焼津市水道ビジョン・経営戦略2020

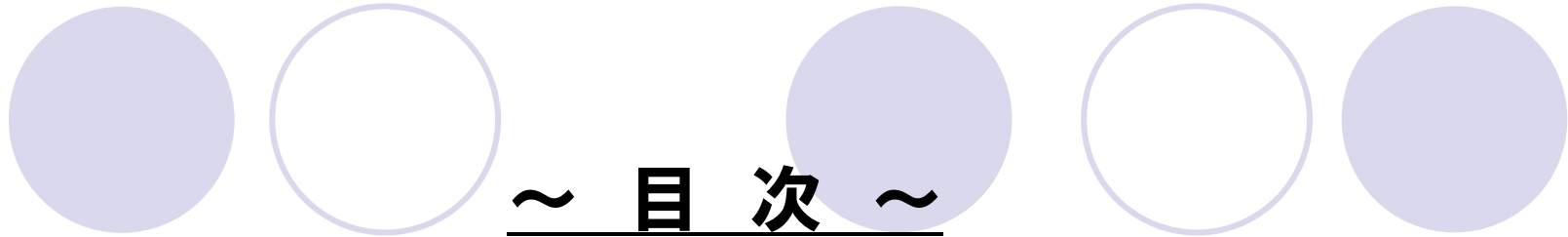
令和2年度 達成状況

焼津の
すいどう



日時 令和3年12月14日(火)午後2時

場所 焼津市水道庁舎

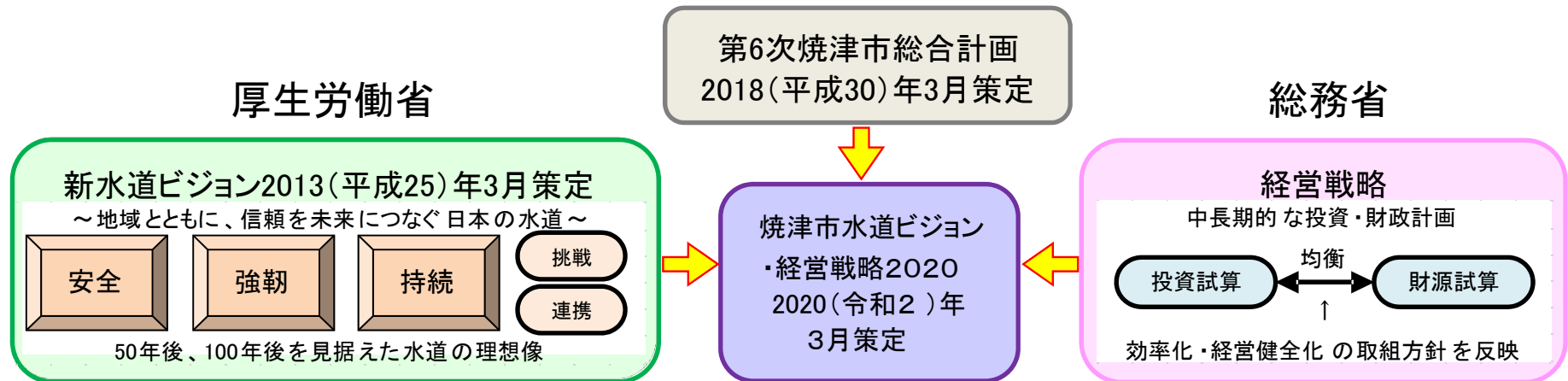
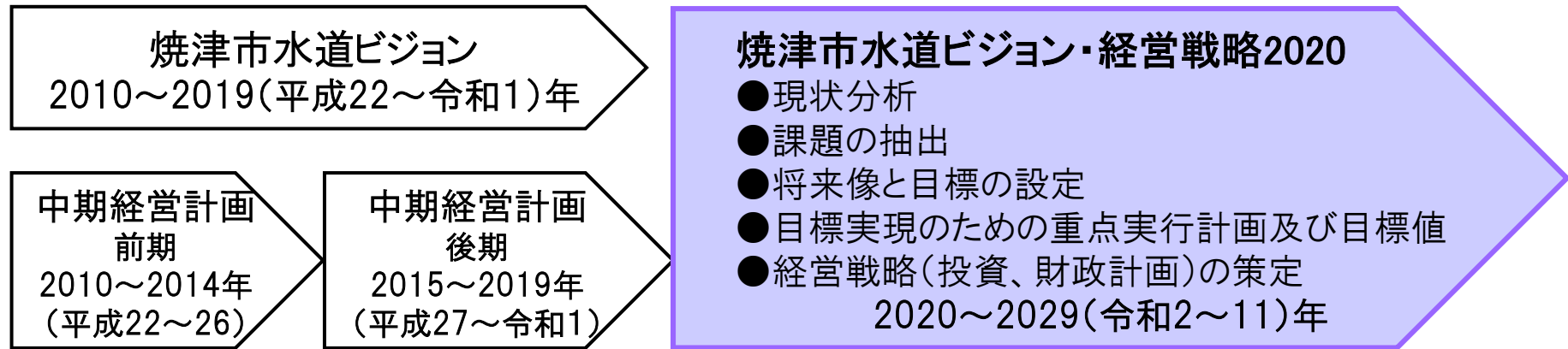


- 1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020について**
- 2. 水需要の推移**
- 3. 令和2年度目標達成状況**
- 4. 令和3年度決算の見込み**

1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020について

1-1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020の概要

焼津市水道事業の計画



- <水道事業を取り巻く状況の変化>
- ・人口減少社会の到来
 - ・東日本大震災の経験

基本理念：おいしい水を 未来へつなぐ やいづの水道

安全

基本方針：安全でおいしい水の供給

- 基本目標①水質の適正管理
②水源の維持

強靱

基本方針：災害に強い水道の構築

- 基本目標①施設の更新
②管路の耐震化
③危機管理対策の強化

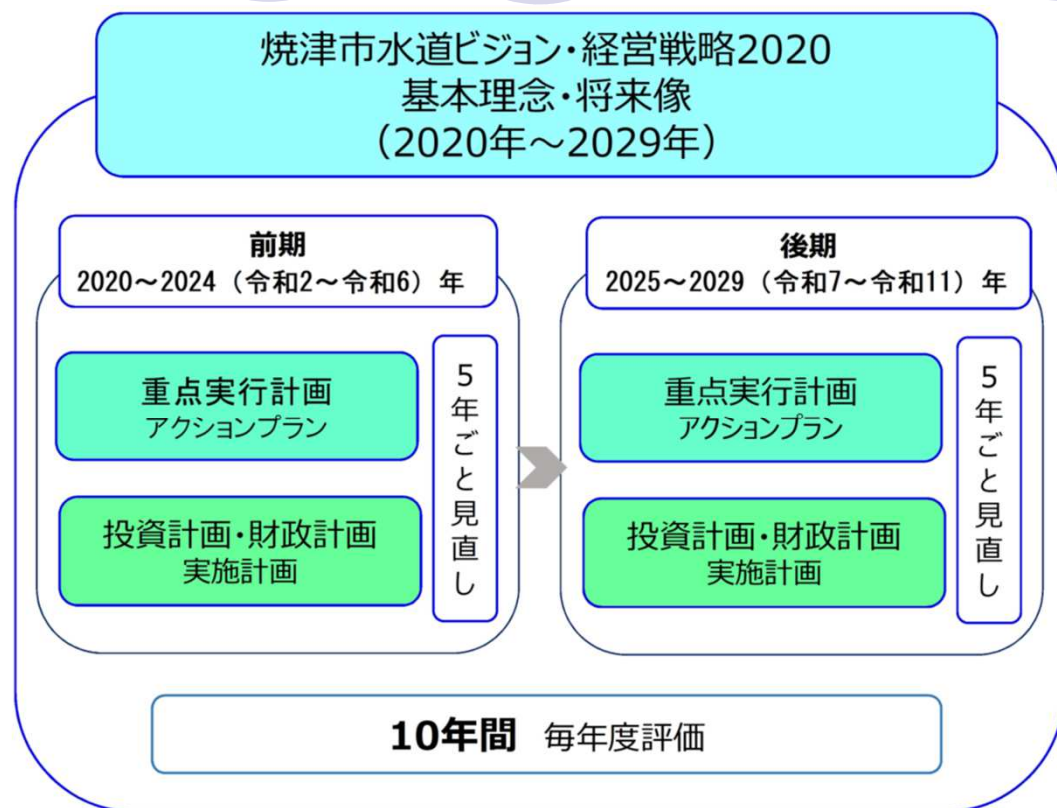
持続

基本方針：未来につながる健全な事業経営

- 基本目標①経営基盤の強化
②業務の効率化
③お客さまとのコミュニケーションの推進
④環境に配慮した事業の運営

1-2. 計画的なフォローアップ

目標の実現に向けた重要実行計画を着実に実施していくためには、計画の進捗管理が重要となるため、毎年、PDCAサイクルを用いて、目標値に対する評価を行います



①<評価・検証>

毎年、年度ごとの各事業の目標値について、目標達成状況の確認及び評価を実施

②<計画の見直し>

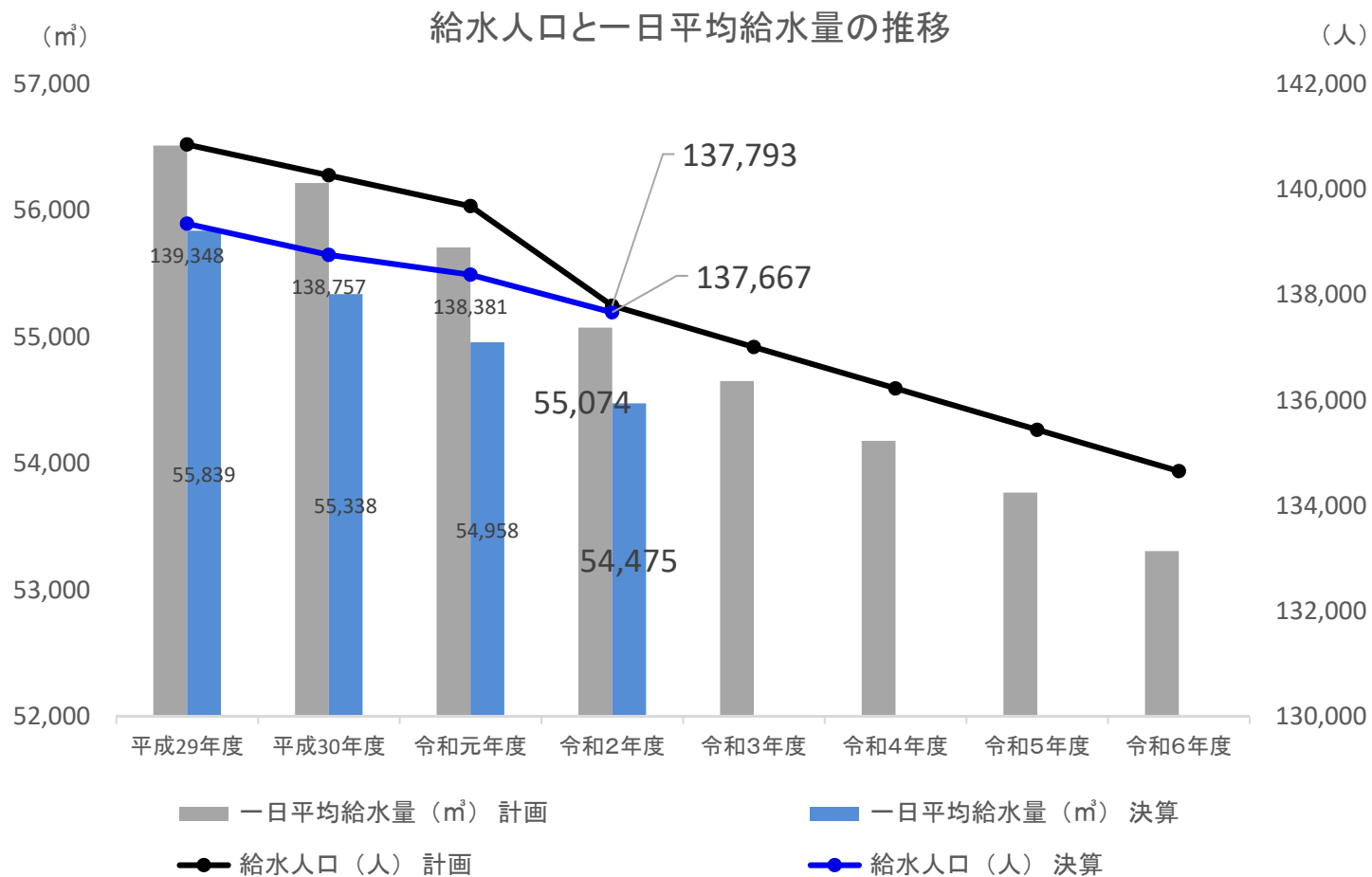
5年ごとに、重点実行計画と投資・財政計画について、目標の再検討や、事業の変更・新規追加等の見直しを実施

検証委員会では、①毎年の評価、検証と、②5年ごとの重点実行計画と投資・財政計画の見直しについて、協議していただきます

2. 水需要の推移

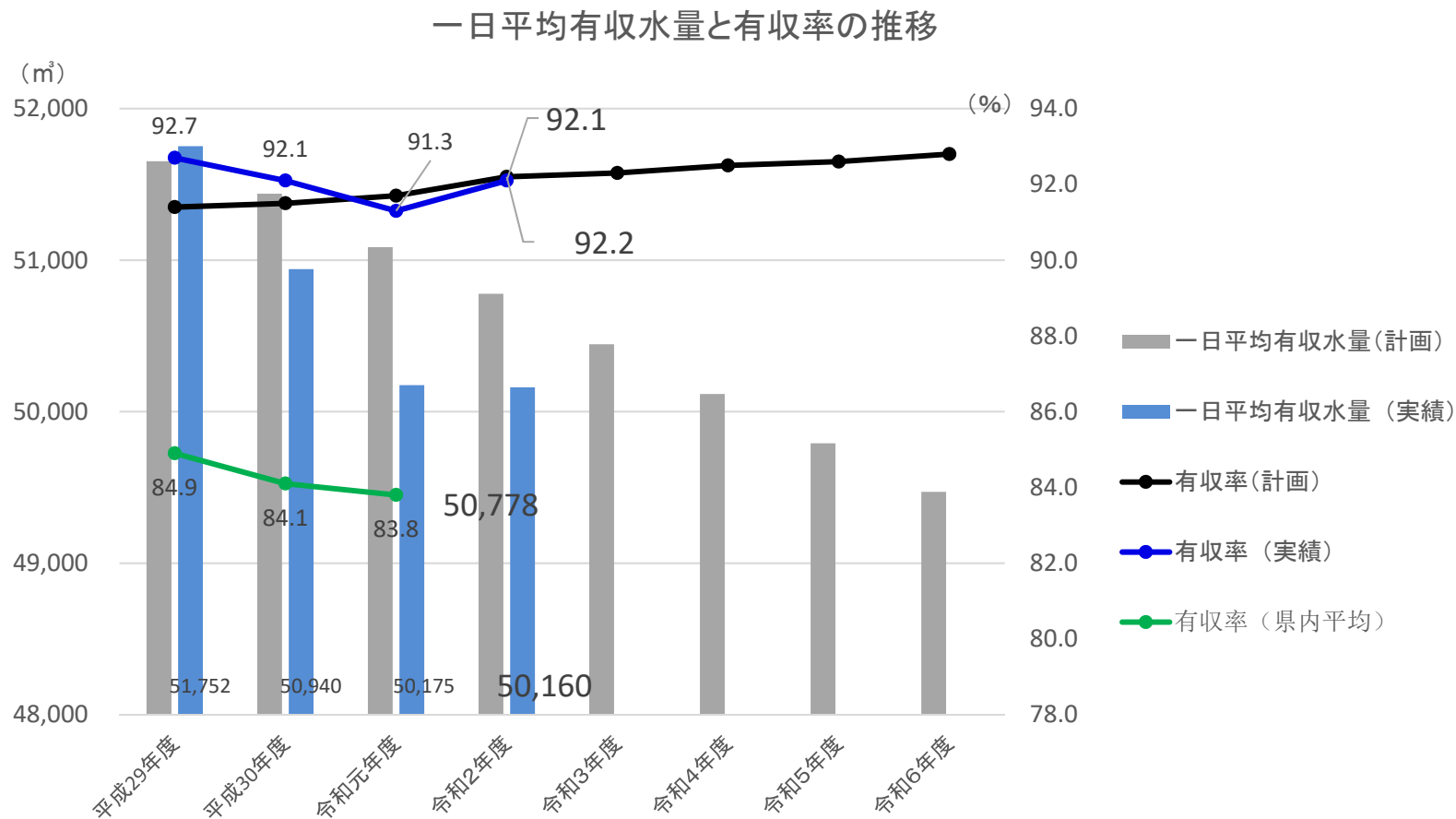
2-1. 給水人口と給水量

給水人口は概ね計画どおり。
給水量は節水意識の高まりや節水機器の普及に加え、感染症拡大防止のための経済活動の抑制などによる事業用水の減少により、計画値に達しなかった。



2-2.有収水量と有収率

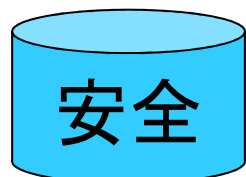
給水量の減少に伴い、有収水量(料金徴収の対象となった水量)は計画値を下回った。有収率は、漏水防止を図るために老朽管の更新及び漏水の調査・修繕を継続的に実施していることから、概ね計画どおりの数値(92.1%)で、前年度比0.8ポイント増となった。



3. 令和2年度目標達成状況

3-1. 重点実行計画の目標達成状況

3-1-1. 安全



基本方針：安全でおいしい水の供給

基本目標 1：水質の適正管理

実現施策	水源から給水までの水質管理の徹底	受水の水質管理
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none">・水質検査計画に基づく水質検査の継続実施・鉛製給水管の水質検査の継続、利用者への広報	受水の水質を注視、日常の水質検査の実施

基本目標 2：水源の維持

実現施策	水源井戸の維持・管理	水源井戸の定期的な調査	地下水の動向把握
重点実行計画	水源井戸の維持・管理の継続実施	水源井戸の修繕計画の作成	地下水利用団体の会議等への参加

基本目標 1 : 水質の適正管理

	評価指標	R2年度目標	R2年度実績	評価
1	水質検査計画の策定	1 回/年	1 回/年	○
2	水質検査計画の実施率	100 %/年	100 %/年	○
3	鉛製給水管の水質検査	4箇所×2 回/年	4箇所×2 回/年	○
4	鉛製給水管使用者への広報(対象者)	1 回/年	1 回/年	○
5	大井川広域水道企業団の水質確認	1 回/月	1 回/月	○
6	日常の水質確認	1 回/日	1 回/日	○

- 1 水質基準改正に基づき基準項目の基準値を変更し、水質管理目標設定項目に有機フッ素化合物を追加して水質検査計画を策定した。
- 3 4箇所の水質検査を年2回実施した。若干基準値を上回ったが、適正な使用方法を指導した。
- 4 広報やいづ6月号に掲載すると共に、メーター交換や修繕工事の際、鉛管であると確認された使用者には個別に通知を配布した。
- 5 水質検査計画に基づき水質検査を実施した。検査結果に異常値等はなかった。残留塩素値が高い時には、大井川広水へ確認を行った。

基本目標 2 : 水源の維持

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
7	水源井戸の水位・水量測定	1	回/月	1	回/月	○
8	水源井戸の修繕計画の実施	-		-		-
9	地下水利用団体の会議参加	1	回/年	1	回/年	○

- 7 稼働中の水源井戸について静水位、動水位の測定を毎月実施し、大きな変化が無いことを確認した。
- 8 令和2年度は計画なし。
- 9 大井川地域地下水利用対策協議会定期総会が新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い書面議決対応となった。
書面議決の結果「平成31年度・令和元年度事業報告」ほか3議事について承認された。

3-1-2. 強靱



基本方針：災害に強い水道の構築

基本目標 1：施設の更新

実現施策	計画的な水道施設の更新	計画的な水源井戸の更新	自然災害対策
重点実行計画	点検・修繕の実施、老朽化施設の計画的な更新	老朽化した水源井戸の計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域にある水道施設の対策 ・土砂災害危険区域にある高台施設の対策

基本目標 2：管路の耐震化

実現施策	基幹管路の耐震化	重給管路の耐震化	給水管の耐震化
重点実行計画	基幹管路の優先的な耐震化	重要給水施設管路の優先的な耐震化	民間工事への給水管耐震化の働きかけ

基本目標 3：危機管理対策の強化

実現施策	マニュアルの精査	システムの活用	応急給水・応急復旧体制の確保	停電対策
重点実行計画	事業環境の変化に応じた定期的な見直し	システム導入による施設情報の管理	応急給水や応急復旧用資器材の確保 災害時を想定した防災訓練の継続実施	発電機(レンタル)の手配・手続き方法の確立

基本目標 1 : 施設の更新

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
10	水道施設の修繕計画の実施	100	%/年	100	%/年	○
11	老朽化した水源井戸の更新箇所数	1	箇所	1	箇所	○
12	浸水想定区域内施設の対策	-		-		-
13	土砂災害区域内施設の対策	-		-		-

10 祢宜島配水場管理棟・ポンプ棟外壁等改修工事などの修繕を実施した。

11 上泉4号水源を更新した。(累計1箇所)

12 令和2年度は計画なし。(累計0箇所)

13 令和2年度は計画なし。(累計0箇所)

基本目標 2 : 管路の耐震化

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
14	基幹管路の耐震管率 (水道配水用ポリエチレン管を耐震管延長に含む)	32.4	%	35.7	%	○
15	重要給水施設管路の耐震管率	29.9	%	29.9	%	○
16	対象給水管のうち耐震継手の使用率 (対象給水管は、給水装置工事の申請のあったもの)	60.0	%	60.6	%	○

14 基幹管路（φ400以上）の更新を行いL=1.8km施工し、目標値以上の耐震化率を達成した。

15 重要給水施設管路0.6kmについて、更新を行った。

16 新規・改良の給水装置工事の申請の際、耐震継手を使用した。

基本目標 3 : 危機管理対策の強化

	評価指標	R2年度目標	R2年度実績	評価
17	危機管理対策マニュアルの見直し	1回/年	1回/年	○
18	上水道地図情報システムのデータ更新	1回/年	1回/年	○
19	近隣3市での資材リストの更新・共有	1回/年	1回/年	○
20	災害対策訓練実施回数	3回/年	11回/年	○
21	燃料備蓄日数	2日	2日	○
22	レンタル発電機の手配・手続き方法の確立	R2検討	確立	○

- 17 危機管理マニュアルの見直しを行い、濁水事故対応行動表を変更した。
 新型インフルエンザ等対応マニュアルについては、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、臨機に対応した。
 風水害への対応については、近隣市の策定状況を調査した。
- 19 令和3年度予算編成時に、3市で資材リストの情報を共有している。
- 20 年間11回実施した。
 大井川広水防災訓練（4回）、ふじのくに防災情報支援システム被害状況報告訓練（2回）、濁水事故対応確認訓練）、
 焼津市水道事業情報伝達訓練、シェイクアウト訓練、原子力防災訓練、日本水道協会中部地方支部情報伝達訓練
- 21 毎月、発電機の試運転後に燃料槽の在庫確認を行い、2日分の燃料備蓄となるよう年度末に補充を行った。
- 22 資機材のレンタルに関する協定に基づき、レンタル協会に非常時の発電機設置箇所及び発電機容量等について資料
 を提供し、要請方法等を確立した。

3-1-3. 持続



基本方針：未来につながる健全な事業経営

基本目標 1：経営基盤の強化

実現施策	財政計画に基づく財源確保	有効率の向上	適正な資産管理	人材の育成と技術継承
重点実行計画	財政計画に基づく適切な財源の確保	配水管更新（予防）、漏水箇所の修理（対処）	アセットマネジメントの精度向上	<ul style="list-style-type: none"> ・業務マニュアルの整備、外部・内部研修の実施、先進事業者からの技術支援 ・再任用職員から次世代職員への技術継承

基本目標 2：業務の効率化

実現施策	業務効率化	台帳整備の効率化	個別委託発注区分の検討
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事務の効率化の調査・研究 ・発注業務の効率化の検討 	システム活用による水道施設台帳の一元化	個別委託発注区分の検討

基本目標 3：

お客さまとのコミュニケーションの推進

実現施策	多角的（戦略的）な広報の実施	意見・要望の把握
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学会の実施 ・経営状況、事業実施状況の情報公開 ・水質検査結果の公表、おいしい水のPR 	お客さまアンケートの実施

基本目標 4：

環境に配慮した事業の運営

実現施策	省エネルギー化の推進	資源の有効利用の推進
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率機器の導入 ・省エネ活動の継続、省エネ機器の導入 ・水源井戸の水量調整方法の見直し 	資源の有効活用の推進

基本目標 1 : 経営基盤の強化

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
23	経常収支比率	100	%以上	109.10	%	○
24	内部留保資金	10	億円以上	20.6	億円	○
25	給水収益に対する企業債残高の割合	400	%以下	271.3	%	○
26	水道料金の見直し	-		-		-
27	有効率	93.7	%	93.4	%	×
28	水道施設台帳の更新	1	回/年	1	回/年	○
29	業務マニュアルの見直し、更新	1	回/年	1	回/年	○
30	外部研修受講回数	1	回/人・年	1.3	回/人・年	○
31	内部研修受講回数	1	回/人・年	1	回/人・年	○
32	再任用職員を活用した技術指導	毎年実施		1回実施		○

23 財政計画の計画値109.24%と実績値109.10%の比較 △0.14%

(仮に減免しなかった場合の仮実績値は114.78%となり、計画値と仮実績値の比較では+5.54%)

24 財政計画の計画値16.9億円と実績値20.6億円の比較 +3.7億円

25 財政計画の計画値253.06%と実績値271.29%の比較 +18.23%

(仮に減免しなかった場合の仮実績値は256.64%となり、計画値と仮実績値の比較では+3.58%)

27 中部地区の水道管101kmについて漏水調査を実施し、43箇所の漏水を発見した。また、市民からの通報箇所を含め、配水管15箇所、給水管61箇所の漏水修繕を実施した。引き続き、漏水防止を図るための老朽管の更新及び漏水調査・修繕を実施していく。

30 一般社団法人日本経営協会のオンライン研修、水道技術管理者研修会などを受講した(延べ参加人数39人)

32 業務に関する法令資料の提供や、消火栓、止水栓の施設点検等において経験に基づく技術指導を行った。

基本目標 2 : 業務の効率化

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
33	近隣市町との情報交換会	1	回/年	8	回/年	○
34	業務効率化の検討会	1	回/年	3	回/年	○
35	水道施設台帳の一元化	1	回/年	1	回/年	○
36	個別委託発注区分の検討	R2～3検討		継続検討中		○

33 三市上水道事業意見交換会及び県の広域連携に関する検討会等（7回）に出席し、情報交換を実施した。

34 公用車の買い替えにあたり使用実績を考慮した車種の選定を行い、工事の発注に際し、債務負担行為の設定や設定工期に応じた工区の分割調整により、工事の平準化を図った。

35 システムに水道施設台帳を追加し、一元化を図り、登録内容の確認精査を完了した。

36 運転管理業務に含む滅菌設備点検業務などの外注委託の実施状況を確認し、次回の運転管理業務発注に向け検討中。

基本目標 3 : お客さまとのコミュニケーションの推進

	評価指標	R2年度目標	R2年度実績	評価
37	施設見学会の実施	1 回/年	0 回/年	-
38	決算書の公表	1 回/年	1 回/年	○
39	事業計画の進捗状況の公表	-	-	-
40	水質検査結果の公表	1 回/月	1 回/月	○
41	お客さまアンケートの実施	1 回/年	1 回/年	○

- 37 開催準備をしたが、感染症対策のため、止むを得ず施設見学会は中止とした。
- 38 令和元年度水道事業会計決算について、9月議会議決後、決算書本編及び概要版を水道事業ホームページで公表した。
(10月)
- 39 旧水道ビジョンに係る令和元年度のフォローアップを実施した。
また、水道ビジョン・経営戦略2020に係る令和2年度の実施内容を確認した。
- 40 水質検査結果を水道ホームページで毎月更新、公表した。
水道水の安全安心な取組みについて水道週間に合わせ、広報紙(6月号)に掲載した。
- 41 水道ビジョン検証委員会の委員にアンケートを実施した。

基本目標 4 : 環境に配慮した事業の運営

	評価指標	R2年度目標		R2年度実績		評価
42	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.26	kWh/m ³ 以下	0.259	kWh/m ³	○
43	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	2.60	MJ/m ³ 以下	2.595	MJ/m ³	○
44	水源井戸水量調整方法の見直し	検証 1回/年		検証1	回/年	○
45	建設副産物リサイクル率	70.0	%以上	95.70	%	○

42 電力使用量の合計 (kWh) /年間配水量 (m³)

$$5,163,674 \div 19,883,376 = 0.259 \text{ kWh/m}$$

43 エネルギー消費量 (MJ) /年間配水量 (m³)

$$51,599,129 \div 19,883,376 = 2.595 \text{ MJ/m}^3$$

44 杵宜島2号水源及び上泉4号水源の起動盤更新に伴い、取水量調整のためのインバータを導入した（省エネ効果が見込まれる）。

45 建設発生土は、現場内流用並びに土質改良土への再利用を推進し、コンクリート殻及びアスファルト殻は、再生砕石として再資源化を図った。

3-2.投資計画及び財政計画の進捗状況

3-2-1.投資計画

①施設、管路の更新・耐震化計画

(資本的支出(税込),百万円)

施設名	2020 R2		2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	計		
	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	実績	
施設・設備	中新田系水源井戸更新	12	14	0	0	69	63	67	64	63	0	75	413	14
	中新田配水場施設更新	0	0	0	0	0	0	5	0	192	0	0	197	0
	祢宜島系水源井戸更新	7	5	69	62	0	9	0	6	6	0	0	159	5
	祢宜島配水場施設更新	0	5	14	8	0	107	0	75	0	386	580	1,170	5
	上泉系水源井戸更新	66	57	0	0	0	6	6	0	0	61	0	139	57
	上泉配水場施設更新	0	0	0	0	0	0	57	43	0	0	0	100	0
	六軒屋系水源井戸更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	六軒屋配水場施設更新	0	0	0	203	308	0	0	0	0	0	0	511	0
	高台施設更新	17	13	18	113	14	69	115	67	85	11	0	509	13
管路	管路更新・耐震化	1,021	826	1,352	1,012	923	1,286	1,323	1,100	1,279	1,019	925	11,240	826
	他事業関連管路整備	90	77	56	56	57	57	57	57	57	57	57	601	77
(施設費：備品類)	21	3	21	21	22	22	22	22	22	22	22	217	3	
建設改良費 合計	1,234	1,000	1,530	1,475	1,393	1,619	1,652	1,434	1,704	1,559	1,659	15,259	1,000	
		▲ 234												

②施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画

(収益的支出(税抜),百万円)

施設名	2020 R2		2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	計		
	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	実績	
長寿命化分	中新田系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	3	0	9	0	0	0	0	12	0
	上泉系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	5	0
	中新田配水場設備点検・修繕	8	8	5	32	32	13	8	43	1	1	24	167	8
	祢宜島配水場設備及び水道庁舎点検・修繕	50	68	2	14	8	2	10	2	11	3	15	117	68
	上泉配水場設備点検・修繕	13	14	12	0	2	2	21	3	0	0	3	56	14
	六軒屋配水場設備点検・修繕	0	1	3	2	21	10	0	0	0	0	0	36	1
	計	71	91	22	48	66	29	48	51	12	4	42	393	91
修繕費(上記以外)	112	75	67	67	67	68	69	68	69	68	68	723	85	
修繕費 合計	183	166	89	115	133	97	117	119	81	72	110	1,116	166	
		▲ 17												

③管路更新・耐震化計画に基づく耐震管率の推移

(km)

耐震管率の指標		2020		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
		R2		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
		計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
基幹管路の耐震管率	耐震管	15.2	17.4	16.9	18.0	19.2	21.9	23.8	26.0	27.5	29.7	31.9
	延長	46.9	48.7	46.4	45.5	45.6	45.9	45.3	45.1	45.0	44.7	44.7
	耐震管率	32.4%	35.7%	36.4%	39.6%	42.1%	47.7%	52.5%	57.6%	61.1%	66.4%	71.4%
重要給水施設管路の耐震管率	耐震管	14.7	14.7	17.3	18.5	21.3	23.6	27.1	30.0	31.5	33.9	36.2
	延長	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2
	耐震管率	29.9%	29.9%	35.2%	37.6%	43.3%	48.0%	55.1%	61.0%	64.0%	68.9%	73.6%

①「施設、管路の更新・耐震化計画」及び②「施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画」について、投資金額は入札差金等により計画をそれぞれ2億3千万円と2千万円下回ったが、計画どおりに工事等を実施した。

また、③「管路更新・耐震化計画に基づく耐震管率の推移」について、基幹管路の耐震管率は計画を上回り、重要給水施設管路の耐震管率は計画どおりである。

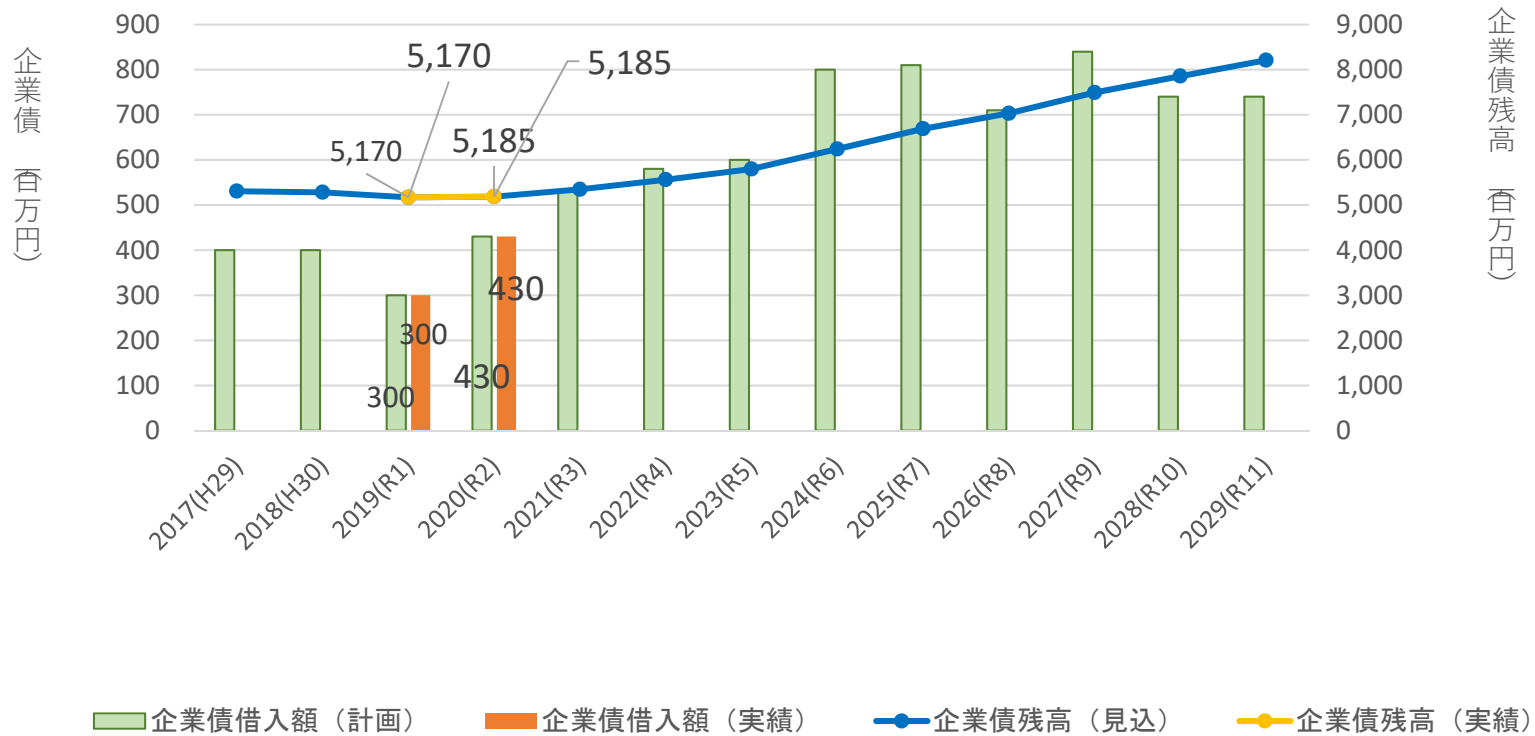
以上のことから、投資計画に沿った投資が行われていると考えられる。

3-2-2.財政計画

項目		単位	2020 (R2)				
			計画	決算	比率		
収益的 収入	収益的 収入	営業収益	千円	2,075,444	1,933,344	93.2	
		給水収益	千円	2,049,000	1,911,301	93.3	
		受託工事収益	千円	22,920	18,947	82.7	
		その他営業収益	千円	3,524	3,096	87.9	
		営業外収益	千円	155,258	160,092	103.1	
		他会計補助金等	千円	5,190	6,679	128.7	
		長期前受金戻入	千円	136,902	139,405	101.8	
		その他営業外収益	千円	13,166	14,008	106.4	
		計 (税抜)	千円	2,230,702	2,093,436	93.8	
		当期純利益	千円	188,694	174,557	92.5	
	収益的 支出	収益的 支出	営業費用	千円	1,955,842	1,847,697	94.5
			給与費	千円	196,027	168,730	86.1
			動力費	千円	95,280	78,490	82.4
			受水費	千円	368,167	367,688	99.9
			委託料	千円	259,742	241,549	93.0
			修繕費	千円	183,014	165,519	90.4
			減価償却費等	千円	798,194	781,459	97.9
			一般管理費	千円	55,418	44,262	79.9
			営業外費用	千円	86,166	71,182	82.6
支払利息			千円	75,361	70,322	93.3	
その他支出	千円	10,805	860	8.0			
計 (税抜)	千円	2,042,008	1,918,879	94.0			
資本的 収入	資本的 収入	企業債	千円	430,000	430,000	100.0	
		工事負担金	千円	53,562	39,852	74.4	
		その他資本的収入	千円	610	611	100.2	
		計 (税込)	千円	484,172	470,463	97.2	
	資本的 支出	建設改良費	千円	1,234,492	999,982	81.0	
		企業債償還金	千円	414,561	414,559	100.0	
		計 (税込)	千円	1,649,053	1,414,541	85.8	
	資本的 収支不足額	千円	▲ 1,164,881	▲ 944,078	81.0		
	補 填 財	消費税資本的収支調整額	千円	99,315	81,299	81.9	
		損益勘定留保資金	千円	661,292	642,325	97.1	
利益剰余金処分額		千円	404,274	220,454	54.5		
内部 資金 留保	利益剰余金	千円	1,690,050	2,064,729	122.2		
	減債積立金	千円	—	438,315	—		
	建設改良積立金	千円	—	895,697	—		
	繰越 (未処分) 利益剰余金	千円	—	730,717	—		
企業債残高		千円	5,185,213	5,185,218	100.0		

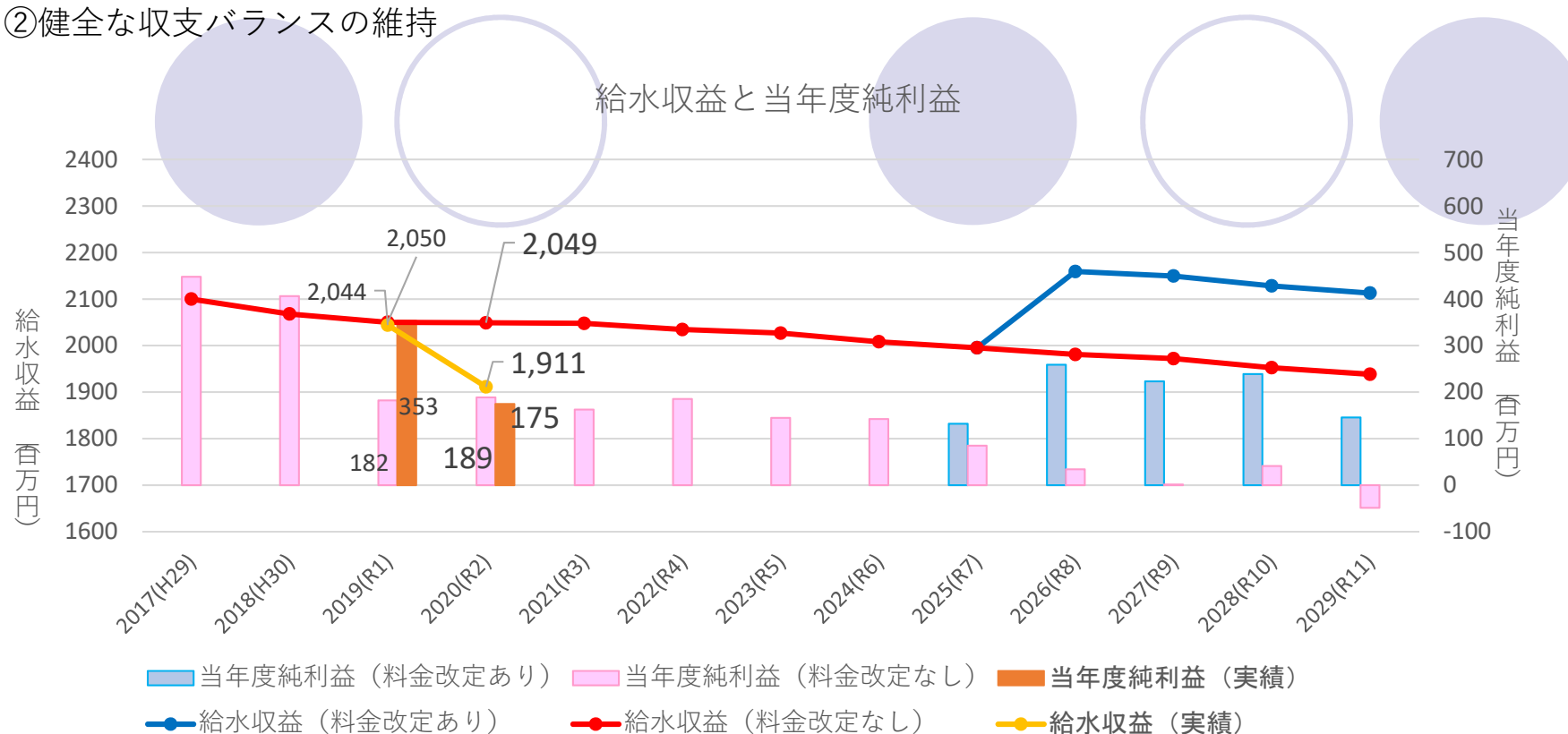
①企業債の活用

企業債借入額と企業債残高



企業債借入額と企業債残高は、計画どおりの実績である。

②健全な収支バランスの維持

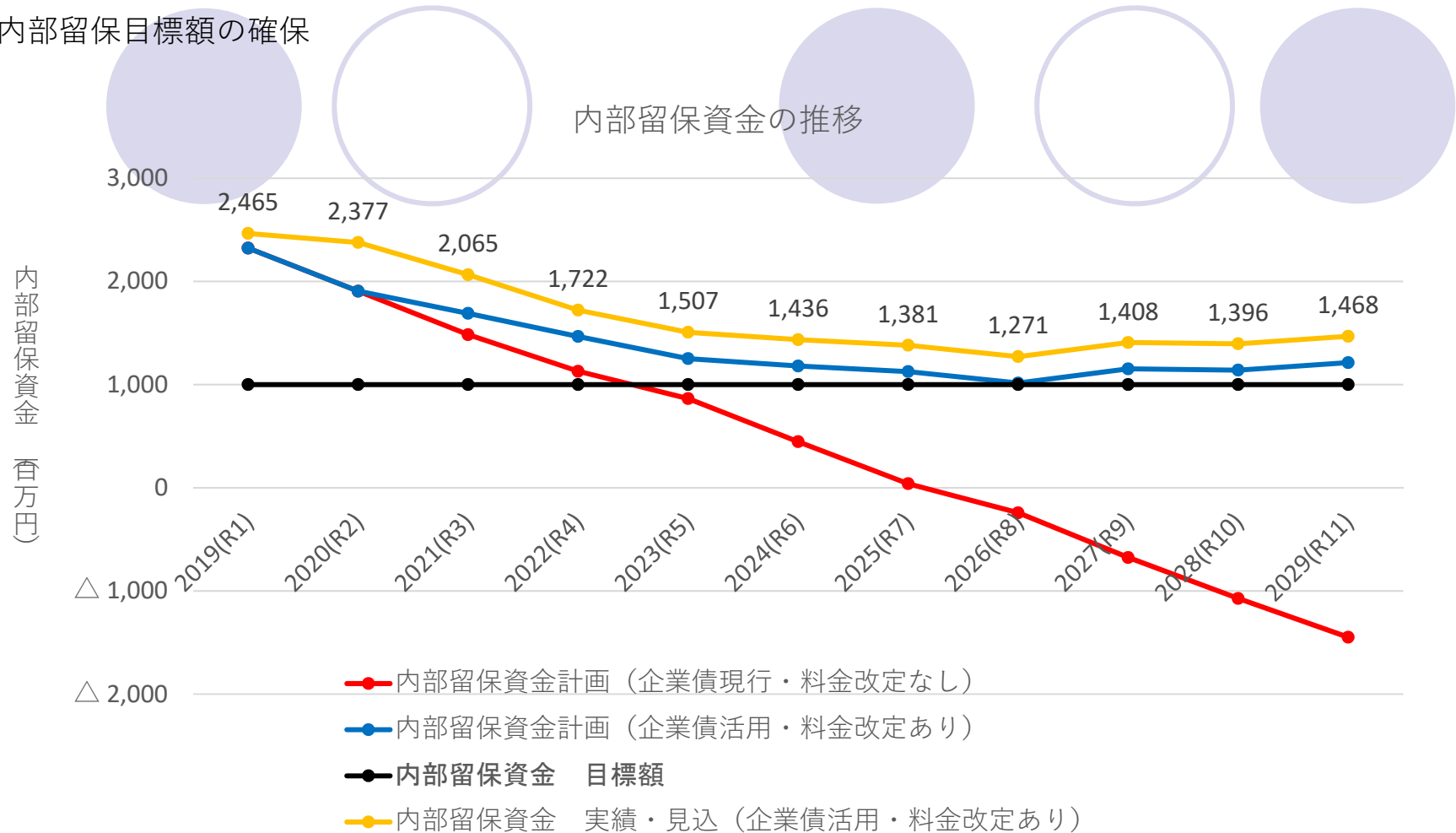


(千円)

	R1計画	R1実績	R1差	R2計画	R2実績	R2差	R1,R2計画	R1,R2実績	R1,R2差
給水収益	2,050,000	2,044,000	▲ 6,000	2,049,000	1,911,301	▲ 137,699	4,099,000	3,955,301	▲ 143,699
当年度純利益	182,278	353,406	171,128	188,694	174,557	▲ 14,137	370,972	527,963	156,991

- ・ R2年度の給水収益が計画を約1億3,800万円下回ったのは、主に減免によるもの。
- ・ R2年度の当年度純利益は計画を約1,400万円下回ったが、R1年度とR2年度の2年間の合計では約1億5,700万円上回っている。

③内部留保目標額の確保



減免の影響で給水収益は減少したが、2年間の合計当年度純利益が計画を上回っていることから、内部留保資金は、計画期間において目標額の10億円を確保できる見通し。

以上のことから、財政収支のバランスが保たれており、健全な経営が持続されていると考えられる。

3-3.令和2年度目標達成状況のまとめ

重点実行計画の達成状況

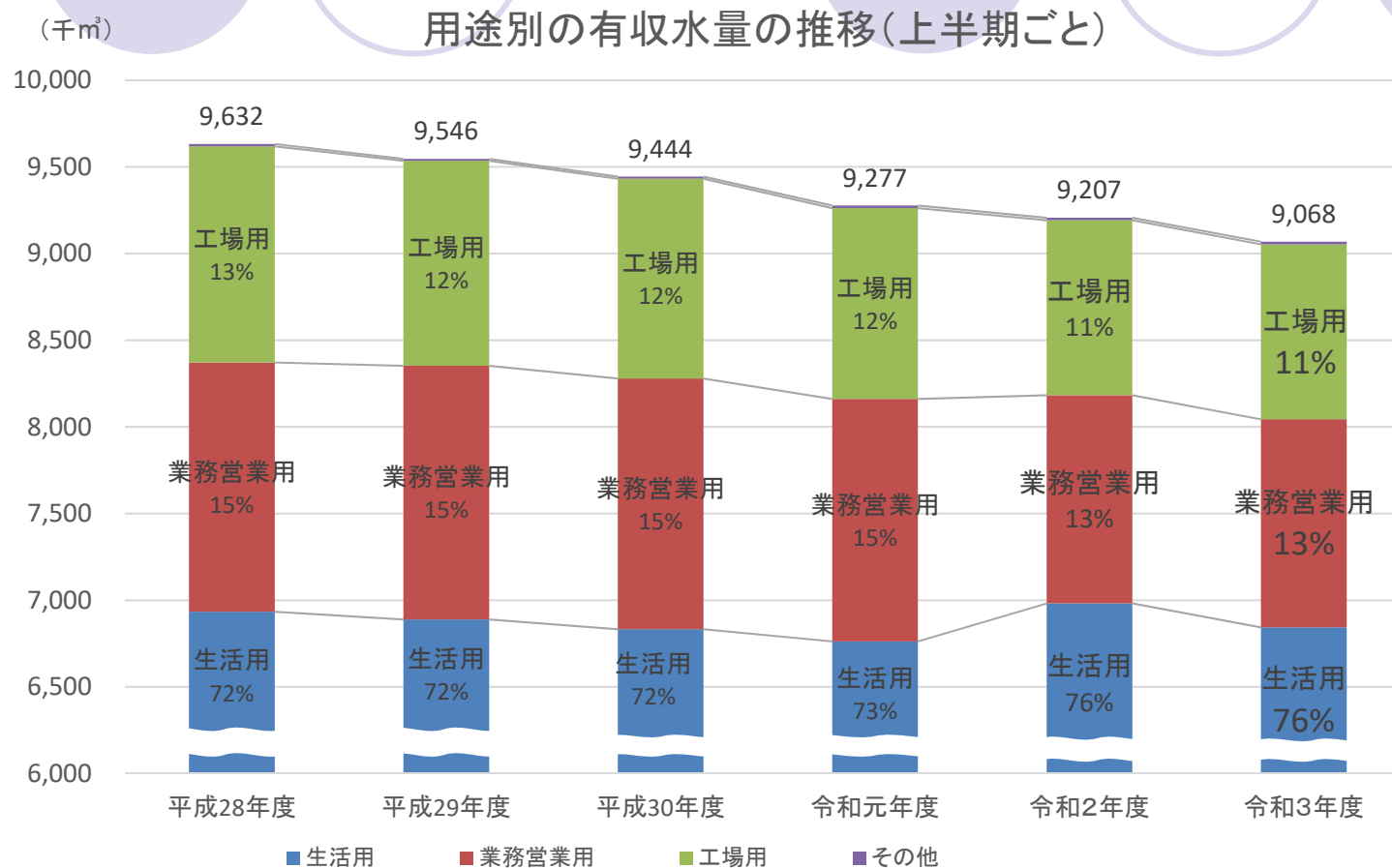
- ・評価対象39項目のうち、未達成の項目は1つ（有効率）のみ。引き続き、漏水防止を図るための老朽管の更新及び漏水調査・修繕を実施し、目標達成に努める。

投資・財政計画の進捗状況

- ・施設、管路の更新・耐震化及び長寿命化に伴う点検・修繕の計画について、計画どおりの進捗である。
- ・財政計画は、減免による給水収益の減少はあったものの、財政収支のバランスは保たれており、健全な経営が持続されている。

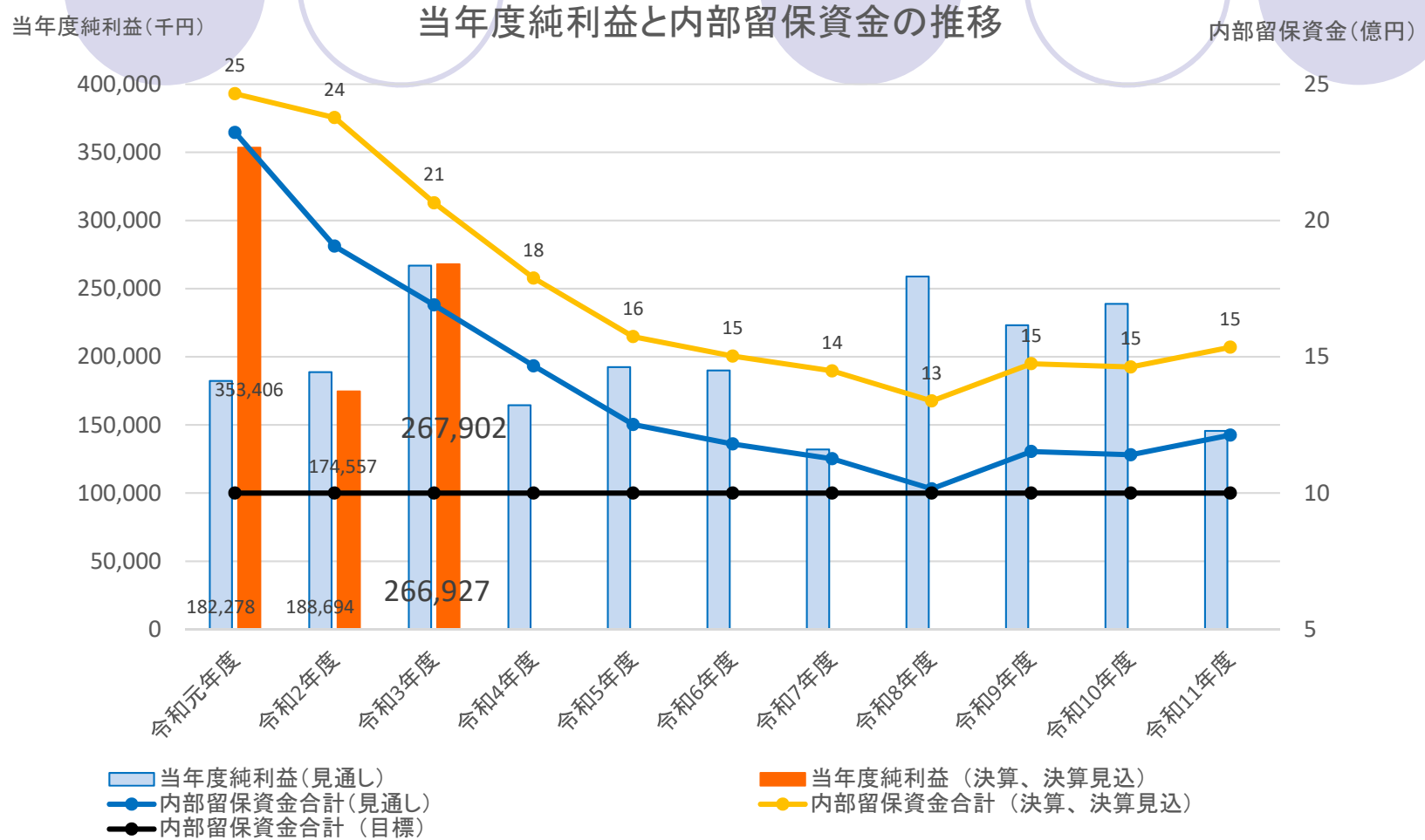
4. 令和3年度決算の見込み

4-1. 用途別水需要(令和3年度上半期実績)



令和2年度同様、例年と比べて、生活用の比率が上がり、業務営業用と工場用の比率は下がった。
上半期の有収水量は、前年同期より1.5%減少

4-2. 当年度純利益と内部留保資金の推移



当期純利益は概ね見通しどおり。
内部留保資金は期間を通じて目標の10億円を確保できる見込み。